



▲藻別の木原さん(右手前)が講師を務めました

た目黒良雄さんの2人。木原さんらは同センター個人ボランティアの1人。藻別でも水田で稲を生産した歴史がある。稲刈りの後に藁を利用して神社などのしめなわを作ってきた木原さんらは、藁を叩いて柔らかくし、ス

「厄除け」を願って

「しめなわ講習会」

紋別市老人クラブ連合会(阿部巖男会長)が主催し、道老人クラブ連合会と紋別市が後援しました。氷上で行うカーリングに似た「カローリング」、点数の穴がついた台に向けてボールをスティックで打つ「スカットボール」、簡易なボウリングの「ハッピーボウリング」の3種類が用意されました。

いずれも高齢者のための「ニーズスポーツ」と呼ばれているもので、紋別の市老連でも、国や道、市の補助を受けて道具を揃えています。「カローリング」では、力加減が難しく、ローラーが標的をはみ出したり、逆に届かなかったりして、会場は大いに盛り上がっていました。

紋別市社会福祉協議会(伊藤勇会長)と紋別市ボランティアセンター(石井賢三センター長)は12月4日、「手作りしめなわ作り講習会」を総合福祉センターで開きました。市民18人と同センターなどの職員14人の合わせて32人が参加。立派なしめなわを製作。「これで厄除けも万全ですよ」と笑顔を見せていました。

講師は、喜寿(77歳)を過ぎたベテランの先生たち。藻別の農家、木原良夫さんと、かつて藻別で農家を営んでいた

ゲはそのまま利用してしめなわ作りの模範を示した。参加者らは最後に鈴やお面など色

国勢調査人口予想クイズ表彰

代表して楠本君に記念品

とりどりの飾り物をつけ、日本の伝承技術も学ぶ充実した時間を過ごしていました。



▲福祉本部長が凌太くん(6歳)に記念品を手渡しました

と一緒に訪れ、凌太くんははにかみながら、記念品(商品明券)を受け取りました。

国勢調査による紋別市の人口(10月1日付け)は2万6631人。クイズの1位は門谷葉子さん(潮見2・正解に比べてマイナス18人)、2位は山口俊也さん(落石2・同プラス88人)でした。

楠本くんは祖父(昌代さんの父)の落石町3、齊藤昭夫さん(61)のアドバイスで応募したそう。齊藤さんも7位に入賞している。「おもちゃが欲しい」と目を輝かせた凌太くんは、関係者の顔も綻んでいました。

国勢調査紋別市実施本部(幡野勝彦同実施本部長)は12月5日、17年度国勢調査人口予想クイズ入賞者への記念品贈呈式を行いました。入賞者を代表して贈呈式に出席したのは、3位に入賞した落石町3、楠本凌太くん(6歳・紋別幼稚園)。母、昌代さん